



## セーフコミュニティニュース 第100回記念号

町のセーフコミュニティの取り組みをお伝えしているセーフコミュニティニュースが100回目を迎えました。今回は記念号ということで、平成21年からのセーフコミュニティ（以下「SC」）の取り組みをまとめました。

### ◆ SCは

SCは、「けがや事故は偶然の結果ではなく、原因を分析し、対策することで予防できる」という考えのもと、住民や行政、関係機関等が連携・協働して、安全安心に暮らせるまちを創る取り組みで、WHO（世界保健機関）が推奨し、国際SC認証センターが認証する、国際認証制度です。私たちの身の回りでおこる、事故やけがなどの、安全・安心を脅かす地域課題に対して、データ分析に基づき、予防に繋げる点も特徴です。

日本では、現在（9月1日時点）15の自治体が認証を受けています。

### ◆ 国際認証を再取得

町は、平成24年5月に世界で274番目、国内で4番目、町村では初めてSCの認証を受けました。この認証は、国際基準に基づき、安全・安心なまちづくりに取り組む基盤ができていくことを意味します。SCは認証がゴールではありません。5年ごとに前回からの取り組みがどのような形で進んでいるのか、国際審査員が再度審査をし、認証を与える制度になっていて、町では平成29年5月に再認証を取得しました。

### ◆ 箕輪町のSCの特色は、『地域の力』

町のSCの特色として、地区SC活動が活発に行われていることが挙げられます。北小河内、富田、八乙女、福与、中原、長岡の6地区のSC推進協議会の地元ニーズに基づいた活動は、再認証の際、現地審査にて高く評価されました。現在、新たに7つ目の地区SC設立の動きがあり、町では「SC活動推進補助金」の交付など、全町展開へ向けて、引き続きサポートしていきます。

SCの活動は、町民の皆様の地域を挙げた努力と関係機関・団体の皆様の暖かなご支援により、国際認証を取得し、世界に誇る安全・安心なまちづくりとして展開してまいりました。

今後も人口減少や高齢化等で地域の力が少しずつ弱まる中、SC活動をひとつの手法に地域づくりを進めてまいります。皆様のご協力よりよろしくお願いいたします。（箕輪町長）

### 箕輪町SCのこれから

SCの活動は、皆さんが日頃に行っている行動の積み重ね、活動の継続が大切です。

「おはようございます」という朝のあいさつも、お互いの無事を確認し、1日が始まるといった意味で1つのSCです。安全・安心なまちづくりを目指して、町のSCはこれからも続いていきます。



町では、認証を受けた5月に、毎年「安全安心の日の集い」を実施。SCについて考える機会としています。



取り組みが評価され、再認証となりました



避難訓練で、要支援者の救助訓練を実施（中原区）



認証自治体（秩父市）で取り組みの発表を行いました（富田区）